

発音のしかた

Q1 英語らしく聞こえるための、発音のポイントを教えてください。

A1 日本語にはない子音に、特に気をつけましょう。

● 特に気をつけたい子音の発音のしかた

f /f/	v /v/	l /l/	r /r/	s /s/	sh /ʃ/	th /θ/	th /ð/
fan	van	leave	read	see	she	thank	that
下唇に上の前歯を当てて「フー」と息を出す。	下唇に上の前歯を当てて「ヴー」と声を出す。	舌先を上歯茎に付けて舌の両側から声を出す。	唇をやや丸め、舌先を内側に反らしながら声を出す。	舌を上歯の根元に近づけ、その隙間から息を出す。	舌を上歯の奥歯付近に近づけ、その隙間から息を出す。	舌先を上歯の裏に軽く当てて、息を出す。	舌先を上歯の裏に軽く当てて、声を出す。

A2 強弱をつけて、単語や文を発音しましょう。

● 単語の発音



ドラマ

日本語では「ド・ラ・マ」のそれぞれの音を同じ強さで読みます。

drama

英語では drama の **で**示した部分を強く読みます。



● 文の発音



I'm Kotaro.

(ぼくは光太郎です。)

I'm from Japan.

(日本出身です。)

I can play the trumpet.

(トランペットを演奏できます。)

● が強く、
● が弱く言うところ
だったね。



A3

リズムを意識して、発音しましょう。

強いところはややゆっくり、弱いところはやや速く発音します。

強く読むところから次に強く読むところまでの間が、ほぼ同じ速さになるのが英語のリズムです。

次の3つの文は、全て同じリズムで、時間的にはほぼ同じ長さで読めます。

Hajin	plays	basketball.
Hajin and I	play	basketball.
Hajin and I	can play	basketball.

左の3つの文は、
同じくらいの時間の長さで発音されるよ。
小学校で習った「チャンツ」を思い出して、
●のところで拍手をしながら、
リズムよく言ってみよう。



A4

声の調子（上げ下げ）を意識して発音しましょう。

文の内容によって、上げて言ったり、下げて言ったりするところがあります。

I'm Kotaro. ↘



こつてい
肯定文や否定文は、
最後を下げる。

Are you new students? ↗



yes-no 疑問文は、
最後を上げる。

What's this? ↘



疑問詞疑問文は、
最後を下げる。

A5

音がつながるところに気をつけて発音しましょう。

英語では、前後の音がつながって変化したり、
聞こえなくなったりすることがあります。



Come in. (つながる音)



I want to get that blue one. (ほとんど聞こえなくなる音)

初めは、A1～A5のうち
どれか1つのポイントにしぼって
音声をよく聞き、
まねして発音してみよう。

